

り
ふ
る

さつぽろ



特集

「女の子」を考える

〜今、ここから、これから〜

コラム

北海道教育大学国際地域学科・特任准教授

平野 恵子 さん

夏

42

2016 Vol.

「女の子」を考える

Sapporo Girls

「今、ここから、これから」

「女の子であること」を、皆さんはどう感じていますか？

札幌の大学に通う4人をお招きし、女の子のことや自分自身のこと、将来のことについてお聴きしました。

Q: 女の子で得なことや損なことはありますか？

竹内さん 私はDV^{*}をテーマに講演活動をしていて、話し手が女の子だからこそ、聴きに来てくださる方がいるので、得ていると思います。あと、おとなしい女の子が多い大学に通っているのので、活動的な子は希少価値が高く重宝されます。

*DV(ドメスティックバイオレンス)配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力

岩崎さん 居酒屋のアルバイトをしますが、サラリーマンのお客さんが多いので、男の子が接客するより女の子の方が親しみやすいのではないかと思います。↓

石山さん 大学進学時に、両親や祖父から「女の子なんだから絶対に浪人するな」とすごく言われました。もともと落ちたら違う大学に行こうと思っていましたが、何で女の子は浪人しちゃうんだめなんだろうと思いました。

竹内さん 私も家族から「普通に大学の勉強をして、就職して、大企業か公務員に就職するのが幸せ」と言われます。私の活動は社会的には評価していただけないですが、家族の中では評価されません。それは、女の子なのに活動的だからという理由だと思います。

牧原さん 大多数が思う普通の女の子のイメージから離れてしまうと家族から心配されてしまうのでしょうか。↓

竹内さん そうだと思います。彼らなり「女の子の幸せ像」みたいなものがあって、「そんなに頑張らないで普通に大学の勉強をしていればいいのにと」言われます。

石山さん 私も「家の手伝いをしなさい」とか、所属している団体の活動に対して「意味はあるの?」「楽しいの?」とよく言われます。楽しいから続けているし、自分にとって意味があることだからやっているんだだけなど思いつつ、



岩崎 智美
さん
大学4年生

石山 冬香
さん
大学3年生

原田 祐希
さん
大学2年生

竹内 真子
さん
大学3年生

聞き手
牧原 ゆりえ
さん
一般社団法人
サステナビリティ・
ダイアログ代表



きつと心配しないと
思います。

女子力が高いと、親は
心配しなくなるのかな。

The Girl...?



けんかになるのが嫌だから言いません。

原田さん 性別によって親が子どもに求めている姿は違いますよね。女の子だと、おしとやかで、おとなしくて、お料理ができてみたいな感じですが、男の子だと、活動的でスポーツができて。そこから外れちゃうと、大人からの批判があるように感じます。私も、「女の子なんだから家事をしない」と言われますが、弟は全然言われません。

岩崎さん 皆さんのお話を聞いて、そもそも「女子力」って何だろうと思いました。

Q: 女子力とは何だと思えますか？

石山さん ご飯に行ったら取り分けてくれる。

原田さん ハンカチ、ティッシュを持っている。

竹内さん それって女子力というより人間力ですよ。男の子でもご飯を取り分けてくれたらいいし、ハンカチだって持っていた方がいい。でも、料理や家事、気遣いができるという力はなぜか「女子力」と呼ばれていて、いまだに男の人を立てていることをすごく感じます。

牧原さん 「女子力」がある人＝世話をしてくれる人、つまり「おかん」みたいな人ということですか？

原田さん 「おかん」の控え目バージョン……ですかね。

石山さん 気づいたら女子力という言葉が身の回りであって、自分でもよくわからないまま使っていた気がします。

牧原さん 「女子力」という言葉が負担にはなっていないですか？

岩崎さん 自分でも使いますし、嫌だということはないですが、女子力の高さが求められることで、人と同じになっってしまうのはつまらないと思います。みんなと同じようなことをするのは

なくて、今、自分ができることをやりたい。だから、女の子らしくないって言われても、これが私だもんという感じですよ。

竹内さん 私は女子力がないと言われるので、「女子力」という言葉がすごく気になります。

岩崎さん 「女子力」ってミニスカートをはいて、ヒールを履いて、髪が長くて、ネイルをして、という外見のイメージもありますよね。

牧原さん 女子力がある人は、控え目で「おかん」みたいで、さらに外見的にも「きれい」というイメージなのですね。皆さんの年齢だからこそ期待されることもあるのでしょうか。

Q: 若いということをどのよう
捉えていますか？

岩崎さん 年をとるのは当たり前なので、自分より若い10代の子がちゃやほやされていても当たり前だと思います。

竹内さん その世代ごとの役割があると思います。私は今、若さを武器にして、自分と同じ世代やそれより若い人に向けてデートDVの予防活動をしています。DV被害者の支援であれば、もう少し年を重ねた方が信頼を得やすいと思います。

原田さん 何か活動をしていて企業やお店に協力を得る際、学生だから一緒

にやってみてもらえることが多いので、若いことが得だとは思いますが。でも、自分ももっと勉強して、いろんな人と信頼関係を築くことができれば、学生でなくても誰かの協力を得ることは可能です。そうして成長していくことに価値があると思います。

牧原さん 私が大学生のときは、女子高生ブームがきて、大学生は年をとっているからあまり価値がないという風潮がありました。それに対して「男だったら楽なのに」と斜に構えていたのですが、皆さんは今の自分の年齢を正面から受け止めていてすごいですね。皆さん、顔は若いけれどもいろんなことを考えていて、同世代の人と話している感じがします(笑)

Q: 女の子だから生きにくいと感じることや不安なことはありますか？

原田さん 男の子と比べてというわけではありませんが、団体の代表をしていて、これからうまくやっていけるのかという不安があります。人をまとめたこ

とがないので、すごく不安です。

石山さん 私も人をまとめられなくてすごく落ち込んだことがあります。でもそこで気がついたのは、上に立って人をぐいぐい引っ張っていくだけがリーダーではなくて、みんなが頑張っている縁の下の力持ちになるリーダー像もあるということです。私は後者を目指して頑張ってみようと思っています。

岩崎さん 私は地元が札幌ではないので、親の近くや親と一緒に暮らしたほうがいいのかということを考えてしまっています。私には私の人生があつて、自分の好きなことをしたいと思っと思っていますが、先を考えると不安です。

竹内さん 就職に関する不安が、私の8割を占めています。親は大企業や公務員を薦めてくるので、家族とうまくやるには言うとおりにした方がいいのではと思います。大企業にも公務員にも興味がありません。

牧原さん 皆さん、一人ひとりとは不安ではないですね。人との関係を築くときや、家族にどう見られるのか、もしくは家族をどうサポートしていけるか、と考えたときに不安が出てくるのですね。

Q: 自分や周りの人がこうなったらいいなと思うことはありますか？

原田さん 私の幸せの定義はどれだけ笑って過ごせたかということなので、

今一緒にいる友達、そして私自身も楽しいと思えるように接し、悩みがあったら聞いてあげて、みんなが笑顔になれるといいと思います。



石山さん いろんな人がやりたいことを我慢せずに生きられたらいいと思います。「女の子だからやれないかも」ということをなくしたいし、それ以外でも「○○だからできないかも」という思い込みを取っ払えたらなと思います。

竹内さん 私は「社会を変えたくて活動しているんでしょ」と言われますが、全然そんなことはなく、自分と自分の周りくらしいか変えられないと思っています。周りに影響を与えたいなら、環境や時代のせいにはせず、自分が変わらなくちゃ。

岩崎さん 一人ひとりが良い方向に変わって、自分の周りの人たちに影響を与えていくことができれば、社会全体が変わっていくと思います。

牧原さん 「女の子」というテーマで話したら、もっと文句や不満が出ると思っています。皆さん、自分をしっかり持っているのですね。まだ社会には女の子の課題がたくさんありますが、女の子が「女の子」という枠にとらわれず、自分のやりたいことを実現していくことで、多くの人が自分らしく生きるこ



世界のリアル、日本のリアル

「女性が輝く社会」を掲げている日本政府。現状はどの程度「輝いて」いるのか、世界の状況と比較してみましょう。

男女格差をはかる2つの指数



私たちが世界と日本における男女平等を考える上で、有効と考えられる2つの指標を見てみましょう。どちらも男女間の格差を表していますが、「ジェンダー不平等指数」は人間開発^{*1}の点に重きを置いて算出しています。

ジェンダー不平等指数^{*2} 26位 / 155カ国 (2014年)

順位	国名	GII値
1	スロベニア	0.016
2	スイス	0.028
3	ドイツ	0.041
26	日本	0.133

ジェンダー・ギャップ指数^{*3} 101位 / 145カ国 (2015年)

順位	国名	GGI値
1	アイスランド	0.881
2	ノルウェー	0.850
2	フィンランド	0.850
101	日本	0.670

下記5項目から算出

- ① 妊産婦死亡率
- ② 15-19歳の女性の1000人当たりの出産数
- ③ 国会議員の女性割合
- ④ 中学・高校などの中等教育以上の教育を受けた人の割合
- ⑤ 女性の労働力率

下記4項目から算出

- ① 経済 (145カ国中106位)
- ② 教育 (同84位)
- ③ 政治 (同104位)
- ④ 保健 (同42位)

低く評価されたみたい



*1 人間開発……人々が、長寿で、健康かつ創造的な人生を送るための環境をつくること。

*2 ジェンダー不平等指数 (GII)……男女間の不平等がどの程度人間開発を阻害しているか表した指数。

*3 ジェンダー・ギャップ指数 (GGI)……男女間の格差解消が世界経済の発展につながるとして2006年から毎年11月に発表されている指数。

なぜ「ジェンダー・ギャップ指数」の順位が低いのか？

原因1

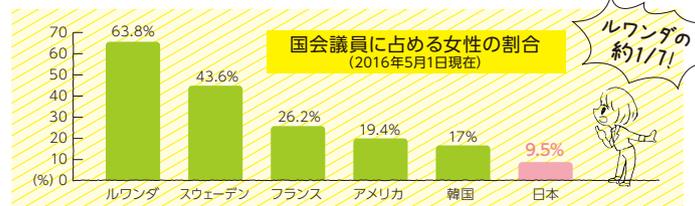
「経済」分野は、①労働力率、②賃金格差、③管理職や専門職への昇進で構成されており、①は世界と比較してもそれほど低くありませんが、日本の場合、結婚・出産期に当たる年代に女性の労働力率が一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するというM字型曲線という特徴があります。「家事・育児は女性がするもの」という思い込みから、それらを担うのが女性に偏っており、子どもが生まれると6割はいったん仕事を辞めてしまうことからこの形が生まれています。

また女性本人だけでなくパートナーの労働時間も長いことが家事・育児への女性の負担を増す結果となっています。さらに、復職する際に子どもを預けるための施設が不足していることも状況が改善されない要因の一つと言えるでしょう。

他にも③の管理職における女性の割合が低いことも課題となっています。給与が高く決定権を持つ管理職における女性の割合が低いことは、自動的に②の賃金格差にもつながってくるためです。

原因2

もう一つの「政治」分野は、①国会議員数、②閣僚数、③首相や大統領の就任期間の男女格差で構成され、②③が特に低い数値となっています。この分野は2014年まで毎年順位を下げていました。世界の国々が女性議員を増やし、日本を追い越した背景には、クオータ制の導入が挙げられます。クオータ制とは、議員や閣僚などの一定数を女性に割り当てる制度で、北欧やアフリカでは法制化して実施している国もあります。



ルワンダの約1/1!



世界と比較することで日本の現状が見えてきました。ジェンダー不平等をあらゆる指数は一つではなく多様な視点が必要ではありますが、この2つの指数の順位差が、先進国である日本のジェンダー不平等を明確にあらわしていると言えるでしょう。



北海道教育大学国際地域学科・特任准教授
(国際社会学、ジェンダー研究、インドネシア地域研究)

ひらの けいこ
平野 恵子さん

KEIKO HIRANO

社会科学博士。お茶の水女子大学大学院博士課程修了。インドネシア大学客員研究員、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター講師を経て、2015年より現職。人の移動、ジェンダーに関する研究をおこなっている。また、インドネシアでの村落調査の経験から現地の移住労働経験者と共にNGOを立ち上げ、人権問題解決にも取り組んでいる。

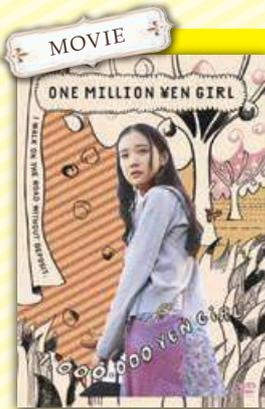
私の明日 コレカラ

Watashi no Korekara

「〇〇になりたい!」「こんなことをしたい!」「札幌をこんな街にしたい!」
札幌で暮らすみなさんに「私の明日」についてお聞きしました。
あなたはどんなことをしたいですか?

私の夢!





MOVIE

百万円と苦虫女

タナダ ユキ 監督

4,700円(税別)/日活

短大を卒業後、アルバイト生活を送る21歳の鈴子(蒼井優)は、ひょんなことから警察沙汰を起こしてしまう。実家に居づらくなった彼女は、100万円が貯まるたびに住まいを変えることを決め、見知らぬ町を転々とするにするが……。人づき合いが苦手で、苦虫をかみつぶしたように笑う鈴子が、自分の生き方を模索するほろ苦い青春ロードムービーです。



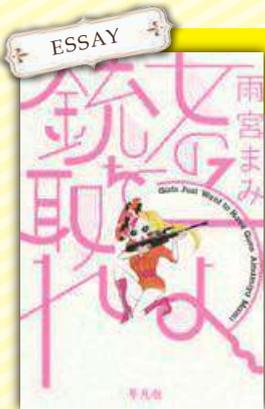
STORY

ガールズ・ブルー

あさの あつこ 著

476円(税別)/文藝春秋

17歳の誕生日を目前に失恋した理穂。身体が弱くて入退院を繰り返し、同情されることを何よりも嫌う美咲。天才野球選手の兄と何かと比較される如月。夢やなりたいたいのがなくても今を精一杯生きる高校生のお話です。



ESSAY

女の子よ銃を取れ

雨宮 まみ 著

1,400円(税別)/平凡社

容姿やファッション、化粧……こうなりたいたいと思っても、他人の目になって思うようにならないもの。そんな生きづらい女の子の壁を撃ち抜く1冊。「誰かになりたい女の子」「クローゼット迷子の女の子」など、各タイトルが十数ページのエッセイなので、気になるタイトルから読んでみるのもおすすめです。



COMIC

13月のゆられい

高野 雀 著

680円(税別)/祥伝社

「女の子でいなければならない」ことに違和感を抱く姉のネリと、「男なのにかわいい」と言われることに悩み、女装をすることで武装する弟のキリ。自分の好きな格好と自分の性別をめぐる悩みや葛藤を描いています。ピンクやフリルが苦手な人、「女の子」でいることに煩わしさを感じたことがある人はきっと共感できる1冊です。

りぶるのススメ

このページではセンター職員がおススメする本をご紹介します。

あなたのお気に入りになれたら嬉しいです。

札幌エルプラザ情報センターを知っていますか？

札幌エルプラザ内にある「情報センター」では男女共同参画を含めた4分野の資料を閲覧したり借りたりすることができます(ご利用は無料です)。

🌟マークが付いているものは情報センターで借りることができますので、ぜひ遊びに来て下さいね。

情報センターへのお問い合わせは

011-728-1223

(開館時間 9:00~20:00)
(貸出時間 9:00~19:45)

ガールズ向けの事業がはじまります！

1 ガールズ相談

若い世代の女性を対象に、ガールズ相談を実施します。

日程	平成28年8月25日(木)～平成28年9月7日(水) 上記期間中全14回
時間	平日 16:00～19:00(金曜のみ19:00～22:00) 土日 13:00～16:00
相談員	カウンセラーなど(女性)
相談方法	LINE、電話、面談
相談内容	体のことや気持ちのこと、進路のことなど
対象	中学生・高校生・大学生の女性

※札幌市男女共同参画センターではガールズ相談の他に、女性のための相談窓口を実施しています。詳しくはホームページをご覧ください。

2 「ガールズによるガールズのための未来応援プロジェクト」

「ガールズによるガールズのための未来応援プロジェクト」では、フェイスブックページを公開しています。札幌市男女共同参画センターで行われる講座やイベントの広報や、同世代間で思いや考えを発信する場になります。ぜひ一度ご覧ください。

フェイスブックURL

<https://www.facebook.com/project.bygirls>

講演会 「女の子の幸福論～ワタシがワタシの人生の主人公になるために～」

『女の子の幸福論～もっと輝く、明日からの生き方』の著者である大崎麻子さんに、女性が自立し、主体的に生きることについてお話をいただきます。

参加費
無料

ゲスト:大崎 麻子さん

日程:8月20日(土) 13:30～15:30

会場:札幌エルプラザ情報センター

対象:高校生、大学生、またはこれに相当する年齢の女性、支援者/50名

申込み

電話、FAX、メールでの
申込。先着順。

申込先:札幌市男女共同参画センター事業係
電話:011-728-1255 FAX:011-728-1229 Mail:jigyoudan@danjyo.sl-plaza.jp

編集後記

今回のりぶるは、高校生・大学生の女の子に読んで欲しいと思い作成しました。試行錯誤して選んだ表紙は、りぶるの編集に協力してくれた札幌の女の子の意見を反映させているのですが、意外な表紙が好評で、大人が考える「女の子」と、女の子自身が考える「女の子」は全然違うということを実感させてくれました。今号が、周りが求める「女の子」ではなく、「私」の人生を「私」が生きていくきっかけになればと思います。

りぶる42号アンケートのご協力をお願いいたします。

りぶる42号についての感想や読者層を調べるため、アンケートを実施いたします。10問程度の簡単な設問です。ご協力をお願いいたします。りぶる42号について皆さまのご意見・感想をお待ちしております。

アンケートは
こちらからアクセス



URL

<https://jp.surveymonkey.com/r/FFQHKCL>

お問い合わせ

札幌市男女共同参画センター事業係
TEL: (011)728-1255 Mail: jigyoudan@danjyo.sl-plaza.jp

発行月: 平成28年6月

発行: 札幌市男女共同参画センター

【指定管理者:公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会】

facebook: <http://www.facebook.com/pages/札幌市男女共同参画センター/377759212234904>

所在地: 〒060-0808

札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ内

電話: (011)728-1255 FAX: (011)728-1229

ホームページ: <http://www.danjyo.sl-plaza.jp>

本誌のタイトル「りぶる」は、英語(ripple)で「さざ波」という意味です。男女共同参画の意識がさざ波のように、少しずつ広がって欲しいという想いを込めました。

